



心と身体の健康について

宮城中央ヤクルト販売株式会社

代表取締役 永富 淳次

近年、少子高齢化により労働力人口が減少するなか、女性の活躍推進は喫緊の課題です。

当社では、昭和 38 年（1963 年）より婦人販売店システムを導入、現在約 80,000 人（国内 35,000 人、国外 45,000 人）のヤクルトレディ（以下 YL）が活躍しています。当初は子育てに時間をとられないお母さんが対象でしたが、近年は若いママさんが多く就店（仕事を始める事）しています。そのため、ヤクルトでは全国で企業内保育園を約 1,200 ヶ所運営しています。当社も一歳児からの保育を受け入れるため、認可型保育園（二日町つばめ保育園・名取つばめ保育園）と 17 ヶ所の企業内保育園を運営しております。女性の労働環境整備は、各企業とも取り組んでおられると思います。大切な事はハード面・ソフト面、両面が機能して初めて、働く女性の味方になります。そこで、女性をサポートし、される側も心と身体の健康が必要となります。心と身体の健康は健康の両輪です。ヤクルトの事業は典型的な労働集約的、ビジネスモデルです。心と身体が一体となりお客様と向き合っただけで初めて、乳酸菌シロタ株の価値訴求が出来るのです。お客様との丁寧な個別対応により私達はお客様に教えられ、育てられます。むしろ何故ヤクルトを毎日飲用することが必要なのか？ 創業者代田（シロタ）稔博士（世界で初めて乳酸菌シロタ株を強化培養）の想い『予防医学』※（病気にかからないための医学）の大切さもお伝えします。しかし、YL さんを信頼して頂けなければ、身体の健康の大切さは伝わりません。

ここで YL さんの就店前研修の一例を紹介します。お客様とコミュニケーションを取るため（信頼して頂く）の心構えを伝えます。当たり前の事です。①約束と時間を守る。②相手の話をよく聞く。③丁寧な接待を心掛ける。④常に感謝の気持ちを持ち誰にでも対応する。

※日本国民の医療費 41 兆 5000 億円（平成 28 年）
国民一人当たり 33 万円/年
65 才以上一人当たり 75 万円
75 才以上一人当たり 93 万円

次に子育ての一例を紹介します。《叱る時》①どうしたの？ 子どもに言い訳させる。出来なかったのは、伝え方が悪い⇒親の責任。人のせいにならない。《ほめる時》仰木彬氏（元オリックス監督）がイチロー選手の才能や自分にはない強みを徹底して認めたように、自分の子どもの良い点を美点凝視する。共通項はなぜ叱る、ほめる、その意味、背景説明をした後で必ずフォローする事です。次に自分の子どもは無限の可能性があり、理想を高く、夢を持って育てる事です。

私は社員に対して、望まれる社員像を求めています。①当事者意識を持って行動する。②説明責任を持って行動する。③決めた事は守り、やり切ること。そして、いつでも高い志を持って仕事に取り組む姿勢を忘れないように指導しています。

私達は一人では何も出来ません。人が集まれる場所・機会を作り、多くの人と出会い交われる事が物事を良い結果に導きます。【多逢勝因】これからは、人と人を継ぐこと、相手の立場に立ち、痛みを分かち合い、おもいやりの心を持つこと。私達が今、範を示し、目くばり・気くばり・思いやりを大切にしたいものです。

私の座右の銘です。『征く道は精進にして、忍びて終わり悔いはなし』

皆様には心と身体の健康にくれぐれも留意され、毎日、明るく、元気にご活躍されること祈念いたします。

